

昼夜間人口比率の低下が続く

～ 平成22年国勢調査結果（その5） 従業地・通学地集計結果 ～

平成22年国勢調査（10月1日実施）の従業地・通学地の集計結果が、平成24年6月26日に総務省統計局から公表されました。

従業地・通学地の集計では、常住地の市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係等に関する結果について集計されていますので、福岡市の概要を紹介します。

1. 概要

昼夜間人口比率の低下が続く

平成22年10月1日現在の従業・通学による福岡市の流入人口※1は247,137人で、前回調査（平成17年）に比べ15,411人減少しました（増加率△5.9%）。一方、流出人口※2も73,067人となり、前回に比べ3,222人減少しました（同△4.2%）。

本市は流入人口が流出人口を上回る流入超過が続いていますが、流入超過人口は174,070人と、前回に比べ12,189人減少しています（同△6.5%）。

福岡市の夜間人口※3 1,463,743人に、流入・流出人口を加減した昼間人口※4は、1,637,813人となりました。夜間人口に対

する昼間人口の割合を示す昼夜間人口比率は111.9%となり、100%を超えたものの、前回調査に比べ1.5ポイント低下しています。平成12年以降、流入超過人口の減少に伴い、昼夜間人口比率も低下が続いています。（表1、図1）

2. 行政区別

博多区、中央区のみ流入超過

行政区別に夜間人口及び昼間人口を見ると、夜間人口は東区の292,199人（構成

図1 流入・流出人口の推移

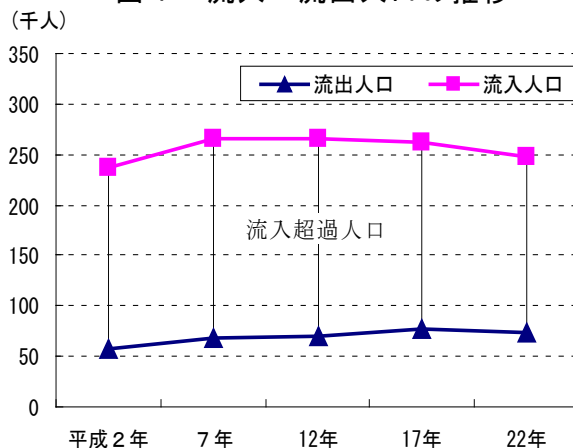


表1 昼間人口及び夜間人口等の推移

	常住地による人口			従業地・通学地による人口			流入超過人口		昼夜間人口比率
	(夜間人口)	流出人口	増加率	(昼間人口)	流入人口	増加率	人	増加率	
	人	人	%	人	人	%		%	%
平成2年	1 229 865	57 125	27.0	1 409 342	236 602	20.3	179 477	18.3	114.6
平成7年	1 280 405	67 846	18.8	1 479 086	266 527	12.6	198 681	10.7	115.5
平成12年	1 336 662	70 644	4.1	1 531 174	265 156	△ 0.5	194 512	△ 2.1	114.6
平成17年	1 384 925	76 289	8.0	1 571 184	262 548	△ 1.0	186 259	△ 4.2	113.4
平成22年	1 463 743	73 067	△ 4.2	1 637 813	247 137	△ 5.9	174 070	△ 6.5	111.9

※平成17年以前の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含まず、平成22年の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含む。

※1) 流入人口…福岡市以外に常住し福岡市へ通勤・通学する人口

※2) 流出人口…福岡市に常住し福岡市以外へ通勤・通学する人口

※3) 夜間人口…福岡市に常住している人口。平成17年以前は年齢不詳を含まない。

※4) 昼間人口…夜間人口に流入・流出人口を加減したものの。買い物客などの非定期的な移動は考慮していない。

比20.0%)が最も多く、次いで南区の247,096人(同16.9%),博多区の212,527人(同14.5%)となっています。

一方、昼間人口は、博多区の365,990人(構成比22.3%)が最も多く、以下東区の292,082人(同17.8%),中央区の284,690人(同17.4%)と続いています。

昼夜間人口比率を見ると、博多区が

172.2%,中央区が159.6%と、昼間人口が夜間人口を大きく上回る流入超過となっており、その他の区はいずれも流出超過となっていますが、前回の昼夜間人口比率と比べると、博多区は20.1ポイント低下、中央区は19.8ポイント低下しており、その他の区は0.7~5.5ポイント上昇しています。(表2、図2・3)

図2 区別の昼夜間人口(平成22年)

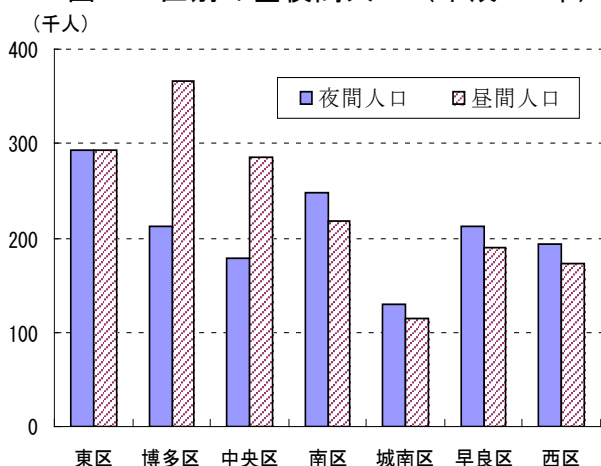


図3 区別の昼夜間人口比率の推移

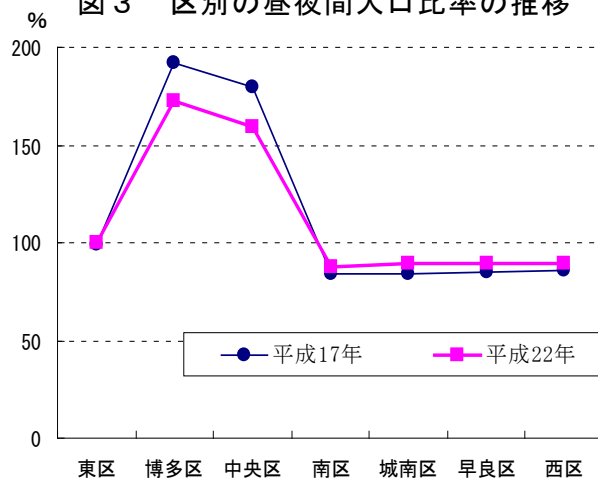


表2 区別昼間人口及び夜間人口等の推移

	常住地による人口			従業地・通学地による人口			流入超過人口 (△は流出)	昼夜間人口 比率
	(夜間人口)	構成比	流出人口	(昼間人口)	構成比	流入人口		
	人	%	人	人	%	人	人	%
平成22年								
福岡市	1 463 743	100.0	73 067	1 637 813	100.0	247 137	174 070	111.9
東区	292 199	20.0	62 981	292 082	17.8	62 864	△ 117	100.0
博多区	212 527	14.5	36 112	365 990	22.3	189 575	153 463	172.2
中央区	178 429	12.2	34 476	284 690	17.4	140 737	106 261	159.6
南区	247 096	16.9	66 352	217 392	13.3	36 648	△ 29 704	88.0
城南区	128 659	8.8	37 499	115 358	7.0	24 198	△ 13 301	89.7
早良区	211 553	14.5	55 762	189 366	11.6	33 575	△ 22 187	89.5
西区	193 280	13.2	47 956	172 935	10.6	27 611	△ 20 345	89.5
平成17年								
福岡市	1 384 925	100.0	76 289	1 571 184	100.0	262 548	186 259	113.4
東区	271 184	19.6	68 855	269 302	17.1	66 973	△ 1 882	99.3
博多区	189 255	13.7	37 655	363 913	23.2	212 313	174 658	192.3
中央区	162 979	11.8	37 432	292 447	18.6	166 900	129 468	179.4
南区	245 691	17.7	78 214	207 072	13.2	39 595	△ 38 619	84.3
城南区	127 909	9.2	44 619	107 693	6.9	24 403	△ 20 216	84.2
早良区	209 143	15.1	65 718	177 988	11.3	34 563	△ 31 155	85.1
西区	178 764	12.9	53 543	152 769	9.7	27 548	△ 25 995	85.5

※平成17年の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含まず、平成22年の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含む。

※各区の流入・流出人口には本市の他区との流入・流出を含む。

※福岡市の流入・流出人口には本市の他区との流入・流出を含まない。

3. 年齢別，性別

昼夜間人口比率は15～19歳が最も高い

年齢（5歳階級）別に見ると，15歳未満と65歳以上を除き，夜間人口・昼間人口・流出人口のいずれも35～39歳が最も多く，流入人口は20～24歳が最も多くなっています。

昼夜間人口比率を見ると，いずれの年齢階層も昼間人口が夜間人口を上回る流入

超過となっていますが，15～19歳と20～24歳の階層が他の階層に比べて昼夜間人口比率が高くなっています。（表3）

男女別では，男性の昼夜間人口比率は115.5%，女性は108.6%となっています。さらに年齢（5歳階級）別に見ると，15歳未満と65歳以上を除き，男性は夜間人口・昼間人口・流出人口・流入人口の全てで35～39歳が最も多くなっています。

表3 年齢別・性別の昼間人口及び夜間人口等

	常住地による人口			従業地・通学地による人口			流入超過人口	昼夜間人口比率
	(夜間人口)	構成比	流出人口	(昼間人口)	構成比	流入人口		
	人	%	人	人	%	人	人	%
総数	1 463 743		73 067	1 637 813		247 137	174 070	111.9
15歳未満	191 824	13.3	441	192 610	11.9	1 227	786	100.4
15～19歳	76 635	5.3	6 680	97 111	6.0	27 156	20 476	126.7
20～24歳	99 145	6.9	6 418	121 059	7.5	28 332	21 914	122.1
25～29歳	105 959	7.3	6 529	121 106	7.5	21 676	15 147	114.3
30～34歳	113 411	7.9	7 674	130 173	8.0	24 436	16 762	114.8
35～39歳	122 372	8.5	8 491	141 884	8.8	28 003	19 512	115.9
40～44歳	105 112	7.3	7 895	121 506	7.5	24 289	16 394	115.6
45～49歳	92 961	6.4	7 678	108 030	6.7	22 747	15 069	116.2
50～54歳	86 484	6.0	6 913	101 831	6.3	22 260	15 347	117.7
55～59歳	94 013	6.5	6 496	110 246	6.8	22 729	16 233	117.3
60～64歳	101 792	7.1	4 961	113 714	7.0	16 883	11 922	111.7
65歳以上	254 085	17.6	2 891	258 593	16.0	7 399	4 508	101.8
不詳	19 950			19 950				
男	692 648		48 139	800 063		155 554	107 415	115.5
15歳未満	98 062	14.4	293	98 248	12.5	479	186	100.2
15～19歳	39 067	5.7	3 632	48 548	6.2	13 113	9 481	124.3
20～24歳	48 983	7.2	3 270	59 601	7.6	13 888	10 618	121.7
25～29歳	49 086	7.2	3 834	55 775	7.1	10 523	6 689	113.6
30～34歳	53 663	7.9	5 063	62 989	8.0	14 389	9 326	117.4
35～39歳	58 842	8.6	5 853	71 381	9.0	18 392	12 539	121.3
40～44歳	50 530	7.4	5 464	61 487	7.8	16 421	10 957	121.7
45～49歳	44 898	6.6	5 303	55 491	7.0	15 896	10 593	123.6
50～54歳	41 958	6.2	4 828	53 286	6.8	16 156	11 328	127.0
55～59歳	45 446	6.7	4 696	58 134	7.4	17 384	12 688	127.9
60～64歳	48 436	7.1	3 676	58 029	7.4	13 269	9 593	119.8
65歳以上	102 454	15.0	2 227	105 871	13.4	5 644	3 417	103.3
不詳	11 223			11 223				
女	771 095		24 928	837 750		91 583	66 655	108.6
15歳未満	93 762	12.3	148	94 362	11.4	748	600	100.6
15～19歳	37 568	4.9	3 048	48 563	5.9	14 043	10 995	129.3
20～24歳	50 162	6.6	3 148	61 458	7.4	14 444	11 296	122.5
25～29歳	56 873	7.5	2 695	65 331	7.9	11 153	8 458	114.9
30～34歳	59 748	7.8	2 611	67 184	8.1	10 047	7 436	112.4
35～39歳	63 530	8.3	2 638	70 503	8.5	9 611	6 973	111.0
40～44歳	54 582	7.2	2 431	60 019	7.2	7 868	5 437	110.0
45～49歳	48 063	6.3	2 375	52 539	6.3	6 851	4 476	109.3
50～54歳	44 526	5.8	2 085	48 545	5.9	6 104	4 019	109.0
55～59歳	48 567	6.4	1 800	52 112	6.3	5 345	3 545	107.3
60～64歳	53 356	7.0	1 285	55 685	6.7	3 614	2 329	104.4
65歳以上	151 631	19.9	664	152 722	18.4	1 755	1 091	100.7
不詳	8 727			8 727				

※総数には年齢不詳を含むため，構成比は年齢不詳を除いて算出した。

女性は、夜間人口と昼間人口は35～39歳が最も多く、流出人口・流入人口は20～24歳が最も多くなっています。

昼夜間人口比率を見ると、男性は55～59歳が127.9%と最も高く、女性は15～19歳の129.3%が最も高くなっています。グラフにすると、男性は15～19歳と55～59歳の階層を頂点とする二つの山を形作る

のに対し、女性は15～19歳の階層を頂点として、年齢が高くなるにつれて緩やかに下降していきます。(表3、図4)

4. 大都市別

昼夜間人口比率は4番目に高い

東京都区部を含む20大都市について見ると、流入人口は東京都区部が3,169,438人と最も多く、以下、大阪市の1,113,574人、名古屋市の495,614人、横浜市の410,298人と続き、福岡市は247,137人で20大都市中5番目となっています。

一方、流出人口は横浜市が723,741人と最も多く、次いで東京都区部の403,596人、川崎市384,994人、さいたま市305,021人と続き、福岡市は73,067人で12番目となっています。

流入超過となったのは13都市で、流入超過人口は、東京都区部の2,765,842人が最も多く、以下、大阪市の873,262人、名

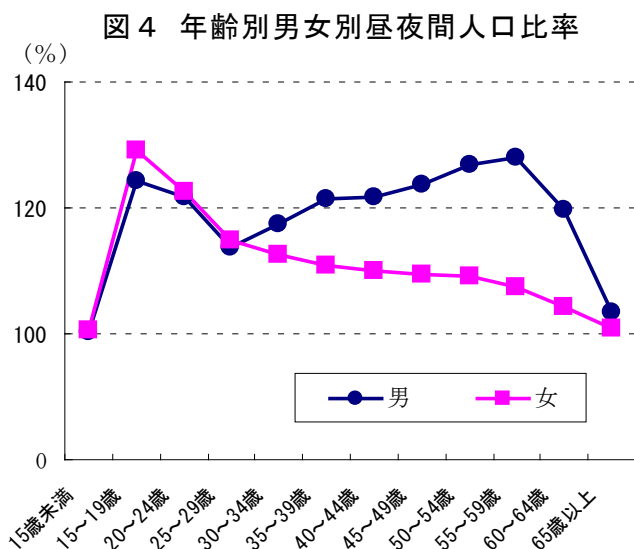
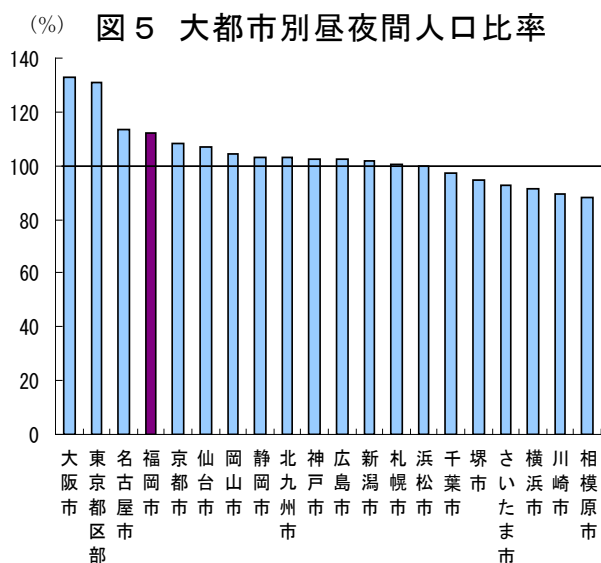


表4 20大都市の昼間人口及び夜間人口等

	常住地による人口		従業地・通学地による人口		流入超過人口	昼夜間人口比率
	(夜間人口)	流出人口	(昼間人口)	流入人口		
	人	人	人	人	人	%
札幌市	1 913 545	68 508	1 925 535	80 498	11 990	100.6
仙台市	1 045 986	51 903	1 121 965	127 882	75 979	107.3
さいたま市	1 222 434	305 021	1 133 978	216 565	△ 88 456	92.8
千葉市	961 749	193 602	938 148	170 001	△ 23 601	97.5
東京都区部	8 945 695	403 596	11 711 537	3 169 438	2 765 842	130.9
横浜市	3 688 773	723 741	3 375 330	410 298	△ 313 443	91.5
川崎市	1 425 512	384 994	1 275 628	235 110	△ 149 884	89.5
相模原市	717 544	167 752	630 432	80 640	△ 87 112	87.9
新潟市	811 901	34 661	826 202	48 962	14 301	101.8
静岡市	716 197	28 372	739 584	51 759	23 387	103.3
浜松市	800 866	44 809	798 622	42 565	△ 2 244	99.7
名古屋市	2 263 894	190 132	2 569 376	495 614	305 482	113.5
京都市	1 474 015	110 602	1 599 037	235 624	125 022	108.5
大阪市	2 665 314	240 312	3 538 576	1 113 574	873 262	132.8
堺市	841 966	166 117	794 507	118 658	△ 47 459	94.4
神戸市	1 544 200	171 443	1 583 765	211 008	39 565	102.6
岡山市	709 584	47 021	739 068	76 505	29 484	104.2
広島市	1 173 843	64 341	1 198 347	88 845	24 504	102.1
北九州市	976 846	47 000	1 003 657	73 811	26 811	102.7
福岡市	1 463 743	73 067	1 637 813	247 137	174 070	111.9

古屋市の305,482人と続き、福岡市は174,070人で4番目となっています。流出超過となっているのは7都市で、東京都近郊の横浜市が313,443人で最も多く、次いで川崎市の149,884人、さいたま市の88,456人、相模原市の87,112人となっています。

昼夜間人口比率では、大阪市の132.8%



が最も高く、次いで東京都区部の130.9%、名古屋市の113.5%と続き、福岡市は111.9%で4番目に高くなっています。(表4、図5)

5. 市内に常住する15歳以上就業者・通学者の従業・通学地

市内での従業・通学は減少

福岡市に住んでいる15歳以上就業者・通学者数は756,871人となり、うち就業者は663,826人（構成比87.7%）、通学者は93,045人（同12.3%）となりました。

このうち、市内で従業・通学する15歳以上就業者・通学者数は620,478人で構成比は82.0%となり、前回と比べると48,095人減少しました（増加率△7.2%）。一方、市外へ従業・通学する15歳以上就業者・通学者数は100,705人で構成比は13.3%となりました。

市外への従業・通学地を地域別に見ると福岡県内が65,053人と最も多く、その

表5 福岡市に常住する15歳以上就業者・通学者の従業・通学状況

	平成17年		平成22年				男	女
	総数	構成比	総数	構成比	15歳以上就業者	15歳以上通学者		
	人	%	人	%	人	人	人	人
総数 1)	744 512	100.0	756 871	100.0	663 826	93 045	410 682	346 189
自市で従業・通学	668 573	89.8	620 478	82.0	546 158	74 320	325 752	294 726
自区で従業・通学	362 437	48.7	355 661	47.0	309 596	46 065	176 779	178 882
自宅	49 499	6.6	39 089	5.2	39 089	—	22 204	16 885
自宅外	312 938	42.0	316 572	41.8	270 507	46 065	154 575	161 997
自市内他区で従業・通学	306 136	41.1	264 817	35.0	236 562	28 255	148 973	115 844
他市町村で従業・通学 2)	75 939	10.2	100 705	13.3	85 922	14 783	64 274	36 431
県内	66 990	9.0	65 053	8.6	57 205	7 848	41 740	23 313
福岡都市圏	54 420	7.3	50 110	6.6	44 585	5 525	30 511	19 599
筑紫地域	22 273	3.0	19 401	2.6	16 314	3 087	11 360	8 041
糟屋地域	25 018	3.4	23 550	3.1	21 999	1 551	15 012	8 538
宗像地域	2 668	0.4	2 643	0.3	2 040	603	1 574	1 069
糸島市 3)	4 461	0.6	4 516	0.6	4 232	284	2 565	1 951
県内他市町村	12 570	1.7	14 943	2.0	12 620	2 323	11 229	3 714
北九州市	4 606	0.6	4 605	0.6	3 957	648	3 480	1 125
久留米市	3 144	0.4	3 151	0.4	2 341	810	2 188	963
他市町村	4 820	0.6	7 187	0.9	6 322	865	5 561	1 626
他県	8 949	1.2	7 573	1.0	6 810	763	6 106	1 467

1) 平成22年の数値には従業地・通学地「不詳」を含む。
 2) 平成22年の数値には他市町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。
 3) 平成17年の糸島市の数値は合併市町村の合算値である。

うち7割以上の50,110人が福岡都市圏へ
 従業・通学（＝福岡都市圏への流出）し
 ており、市外従業・通学者100,705人の約
 5割を占めています。（表5・図6）

となっています。（表6・図6）

* * * * *

平成22年国勢調査の公表結果は、福岡市
 や総務省統計局のホームページでご覧いた
 だけます。

福岡市の統計情報

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html>

総務省統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/>

6. 市内で従業・通学する15歳以上就 業者・通学者の常住地

市外常住者の約7割が福岡都市圏内

福岡市内で従業・通学する15歳以上の
 就業者・通学者数は930,155人で、うち就
 業者は805,421人（構成比86.6%）、通学
 者は124,734人（同13.4%）となりました。

このうち、市外に常住する15歳以上就
 業者・通学者数は245,910人で構成比は
 26.4%となり、前回と比べると15,263人
 減少しています（増加率△5.8%）。

市外の常住地を地域別に見ると、福岡県
 内が226,798人と最も多く、そのうち7割
 以上の174,863人が福岡都市圏に常住（＝
 福岡都市圏からの流入）しており、市外
 常住者245,910人に占める割合も約7割

図6 福岡都市圏との流入・流出口

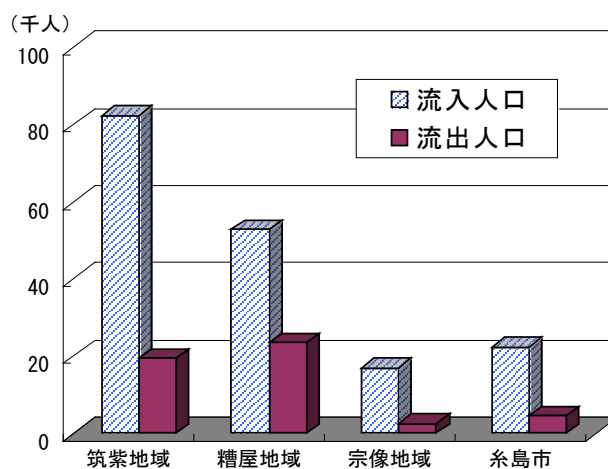


表6 福岡市に従業・通学する15歳以上就業者・通学者の常住状況

	平成17年		平成22年				男	女
	総数	構成比	総数	構成比	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者		
	人	%	人	%	人	人	人	人
総数 1)	929 746	100.0	930 155	100.0	805 421	124 734	517 911	412 244
自市に常住	668 573	71.9	620 478	66.7	546 158	74 320	325 752	294 726
自区に常住	362 437	39.0	355 661	38.2	309 596	46 065	176 779	178 882
自宅	49 499	5.3	39 089	4.2	39 089	—	22 204	16 885
自宅外	312 938	33.7	316 572	34.0	270 507	46 065	154 575	161 997
自市内他区に常住	306 136	32.9	264 817	28.5	236 562	28 255	148 973	115 844
他市町村に常住	261 173	28.1	245 910	26.4	205 610	40 300	155 075	90 835
県内	239 688	25.8	226 798	24.4	190 897	35 901	141 505	85 293
福岡都市圏	181 516	19.5	174 863	18.8	151 454	23 409	107 041	67 822
筑紫地域	85 577	9.2	82 437	8.9	73 315	9 122	50 331	32 106
糟屋地域	52 812	5.7	52 913	5.7	45 406	7 507	32 404	20 509
宗像地域	19 633	2.1	16 993	1.8	13 805	3 188	10 912	6 081
糸島市 2)	23 494	2.5	22 520	2.4	18 928	3 592	13 394	9 126
県内他市町村	58 172	6.3	51 935	5.6	39 443	12 492	34 464	17 471
北九州市	11 389	1.2	10 185	1.1	7 834	2 351	7 192	2 993
久留米市	11 122	1.2	10 428	1.1	8 044	2 384	6 592	3 836
他市町村	35 661	3.8	31 322	3.4	23 565	7 757	20 680	10 642
他県	21 485	2.3	19 112	2.1	14 713	4 399	13 570	5 542

1) 平成22年の数値には、従業地・通学地「不詳」で当地に常住している者を含む。

2) 平成17年の糸島市の数値は、合併市町村の合算値である。